

静岡における女性の自転車利用の広がり

谷田貝一男

自転車は女性も男性も、幼児も高齢者も、誰もが利用している最も身近な乗り物です。しかし、女性の利用が広がり始めたのは66年前の1956年(昭和31)からですが、静岡ではそれ以前から多くの女性が自転車を利用していた街です。なぜ66年前まで、女性は自転車を利用しなかったのでしょうか。なぜ静岡は全国に先駆けて女性の自転車利用が広がっていたのでしょうか。

女性が自転車を利用しなかった背景

江戸時代末期に海外から持ち込まれた自転車も、明治期においては恵まれた社会環境の中で生活していた極めて少数の人しか利用出来なかった上に、女性はほとんど利用出来ませんでした。自転車が考案された1817年から2年後には女性用が作られ、男女の区別なく利用されていた欧米とは大きな違いがあります。日本で女性が利用出来なかった背景には、女性が自転車に乗る快活な姿に対する男性側の既成概念による偏見と、高価格故の利用女性に対する妬み、この2つの根源による差別化と考えられます。

その後、1924年(大正13)頃になると男性側の偏見は少なくなり、足を大きく上げなくても乗ることが出来る国産の自転車(以下女性用自転車)が発売されていますが車体は重く、これも女性の利用を抑制していました。

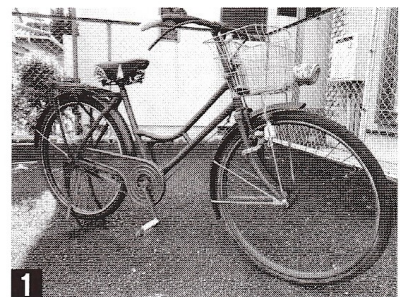
このような社会環境・自転車形体が影響して、1956年(昭和31)当時、自転車に乗ることが出来る割合は男性が15～19歳代97%・40歳代95%・50歳代でも79%に対して、女性は15～19歳代76%・40歳代18%、50歳代では7%に過ぎませんでした。さらに、自転車に乗れても実際に利用している女性は25%で男性の66%の半分にも満たない状況でした(1)。

女性が乗りやすく便利な自転車の登場

1956年(昭和31)、軽量で足を少し上げるだけで乗ることが出来て、ハンドルの前に初めてカゴが付けられた女性用自転車が登場しました。カゴは取はずしが簡単で、手に持ちながら買い物が出来ましたので、これをきっかけに女性の自転車利用が広がりました。

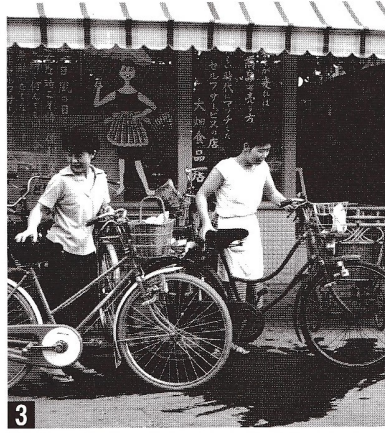
静岡における女性用自転車の先進的利用の様子

写真1は静岡市内にお住まいの大橋はなさんが使っていた1950年(昭和25)頃に造られた自転車です。この当時はまだ女性用自転車が少ないため、はなさんが乗りやすいように車体を改良していますが、その車体の形は1960年(昭和35)頃に発売された女性用自転車の車体とほぼ同じです(2)。さらに1953年(昭和28)の写真(3)に女性用自転車のハンドルの前に個人が改造してカゴを付けて乗っている様子が見られますので、静岡では全国に先駆けて女性が買い物などに自転車を利用していたことが分かります。また、1950年代前半(昭和20年代後半)と推測される写真に男





2



3



4

性が女性用自転車に乗っている様子が見られます。当時は男性が女性用自転車に乗ることは珍しいので、この点からも静岡は女性用自転車の利用が早かったと言えます。

自転車を利用する女性が全国で増え始めた1958～60年(昭和33～35)頃、静岡市内では女性の自転車利用がすでに広がっていた様子を紹介します。

写真2 スカート姿での自転車利用が難しかった当時、女性用自転車を使ってスカート姿で利用しています。

写真3 販売されていた女性用自転車の中で、最初からカゴが付いていたのが20%(4)の当時、カゴを付けた自転車で買い物をしています。右の自転車は後からカゴを付けて利用しています。

写真4 幼児を後輪の上にある荷台に乗せることはありましたが、車体も重く運転は主に男性が行っていた当時、女性がチャイルドシートを装着させて幼児を乗せています。

なぜ静岡で女性の自転車利用が早かったのか

当時の北番町周辺には製茶工場や輸出に関係した外国商社が立ち並び、茶町通りには多くの自転車店が出店していました。外国商社には自転車を利用する外国人女性がいたかもしれませんが、1934年(昭和9)の静岡民友新聞には製茶工場で働いている女性の帰り姿の写真が掲載されています(5)が、この女性たちの中には自転車に乗る外国人女性や自転車店に並ぶ自転車を見て自ら乗り始めた女性や、茶を扱う商店で茶の運搬のために自転車を利用した女性などがいた可能性があります。こう考えると、「お茶」「女性」「自転車」のつながりが、静岡における女性の自転車利用の開始が早かった理由の一つではないかと推測されます。

谷田貝一男 プロフィール

・自転車安全利用研究会代表 ・元自転車文化センター学芸員
自転車の社会における役割と文化との関係の歴史を紐解きながら、誰もが安全に利用できる環境づくりをめざして調査研究を行っている。

参考資料:

(1)「自転車潜在需要調査報告」日本自転車産業競技会 1957年

(2)「しずおか自転車物語3」15・19ページに発見の経緯と車体の特徴が掲載されています

(3)「しずおか自転車物語」16ページに掲載されています

(4)「昭和30年代における女性の自転車乗車率の上昇原因」谷田貝一男 自転車文化センター研究報告書第2号 2009年

(5)「自転車をつれてきたのは、茶だった」村井裕 月刊「茶」5月号 2019年 47ページにも写真が掲載されています

写真2～4は自転車文化センター所蔵